

系 統 高流動水中不分離型無収縮モルタル

特 長 1) 流動性に優れる。  
2) 水中不分離性に優れる。  
3) ポンプ圧送性、空隙充てん性に優れる。

用 途 1) パイルベント橋脚耐震補強工法（SSP工法）用注入モルタル  
2) PCウェル橋脚耐震補強工法（PCウェルリフレ）用注入モルタル  
3) 水中部へのモルタル注入、充てん

配 合 比 AWモルタル粉体：水 = 2.5kg：4.75～5.25kg（標準水量5kg）

	1袋あたりの配合	1m <sup>3</sup> あたりの使用量
AWモルタル粉体	2.5kg	1667kg
水	5kg（標準水量）	333kg
練り上がり量	約15ℓ	1m <sup>3</sup> （1000ℓ）

荷 姿 2.5kg/袋

可 使 時 間

タ イ プ	冬用 (W)	夏用 (S)
温 度 [°C]	5～25	20～30
可 使 時 間 [分]	60	45

単 位 容 積 質 量 2000±100kg/m<sup>3</sup>（2.0±0.1 kg/ℓ）

貯 蔵 保 証 期 間 3か月（未使用、冷暗所保存）

消 防 法 に よ る 区 分 —

使 用 方 法

- 1) セット単位または配合比にしたがって計量して使用する。
- 2) 攪拌にはグラウト用の高速ミキサーを用いる。
- 3) 高速ミキサーに所定量の水（4袋練りの場合：5kg×4=20kg）を入れ、攪拌しながら粉体を徐々に投入して2分間混練りする。
- 4) 搬送にはグラウトポンプを用いる。

使 用 上 の 注 意

- 1) 材料温度、気温、水温、攪拌機の性能により施工性が変化するため、予め試験練りを実施して4.75～5.25kgの範囲で水量を決定する。
- 2) 指定以外の材料を使用しない。
- 3) 作業時には保護具を着用する。
- 4) 流動性測定に用いる平板は、十分な水密性および剛性を持つ鋼製（SS400）のものとし、ゆがみ、表面の傷、汚れの付着がないものとする。
- 5) 流動性の測定は、フローコーンの内面の汚れ等を取り除き、離型剤（CRC 5-56等）を均一に塗布してから行う。

### 注 意

1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。
2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
4. 詳細については製品安全データシート（MSDS）を参照してください。